

桂川の夏(夏休み編)

・桂川小学校平和学習(8月6日登校日)

8月6日、世界で初めて広島に原子爆弾が使用されてから63回目の原爆慰霊の日。桂川町の小中学校では毎年、この8月6日を夏休み中の登校日とし、先の戦争や原爆で犠牲になった方々へ哀悼の意を捧げるとともに、戦争の悲惨さ、平和について考える日としています。

一昨年より桂川小学校では、6年生が各学年の各クラスで講義を行うといった平和学習を行っています。これは、6年生が、春の修学旅行で長崎平和公園や原爆資料館などを訪れ、原爆の悲惨さについて遺品や遺跡を実際に見る体験とおとした学習を行っています。これら体験から学んだ「平和の尊さ」を、直接他の学年の子どもたちに伝えようと始められたものです。今年も、修学旅行後から「どうしたら分かりやすく、平和の大切さが伝わるだろうか?」と試行錯誤しながら作った資料を使って講義し、皆で平和について考えた一日となりました。



▲ 低学年のクラスで少しでも興味を持ってもらえるように、アニメのキャラクターを使った工夫をこらした発表。



▲ 紙芝居風の発表方法で原爆の怖さを分かりやすく伝えようとする班。



▲ 6年生の発表後、「原爆は今、世界にどのくらいあるのですか?」など多くの質問の手が挙がる5年生のクラス。



▲ 原爆で犠牲となられた方へ黙とうする子どもたち。(平和集会での様子)



▲ 体育館壁面に掛けられた原爆の恐ろしさを物語るパネルに真剣に見入る子どもたち。

・夏休みは住民センターへきんしゃーい! (夏休み居場所作り塾)

今年も、「夏休みは住民センターへきんしゃーい!」と題して、けいせん「夢・人・未来塾」アンビジャス広場の主催で「夏休み居場所作り塾」が7月22日~25日、8月18日・20日・25日・27日の午前中に開催されました。

最初の1時間は、各自、夏休みの宿題や読書を行い、ボランティアの方々に教わったりして学習に励みました。その後は、様々な遊びで楽しいひと時を過ごしました。「ダンボールを使って自由に遊ぼう!」では、様々な形や絵が描かれた素敵なダンボールハウスなどが出来ていました。また、大学生ボランティアの指導によるバルーンアートなどでは、生き生きとした子どもたちの笑顔が印象的でした。



▲ 「夏休み居場所作り塾」で、まず朝の学習に取り組む子どもたちと見守りボランティア。



▲ 朝の学習終了後、住民センター大ホールでダンボールを使って遊ぶ子どもたち。完成したダンボールハウス。



▲ バルーンアート(風船)で作ったハートの中の素敵な笑顔に「ハイ!チーズ!」「パシャッ!」

・夏休み一日図書館員体験

8月8日、桂川町立図書館では小さな図書館員4名が、ニコリ笑顔で訪れた人々を出迎えました。これは桂川町立図書館が、「二日図書館員体験」として募集・開催したもので、桂川小学校の6年生3名と5年生1名が参加しました。

カウンターでの本の貸し出し、返却の手続きや返却された本を棚に戻したりと、一日忙しく頑張りました。感想を尋ねると皆「本を元の場所に戻るのが一番大変でした。」と同じ答えが返ってきました。

ちなみに桂川町立図書館の蔵書は約9万8千5百冊だそうです。

一日図書館員の皆さん、お疲れ様でした。



▲ 「夏休み毎日昼ご本」で本の読み聞かせをする一日図書館員。とても緊張したそうです。



▲ 一日図書館員お勤めの本です。9月末まで図書館内に掲示してありますので、本選びの参考にしてください。